

# 錦江に生きる

ひとり目

ぬくみみく  
貫見未来さん(池野自治会)



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。  
第1回目は、池野自治会の貫見未来さんです。

田代川原で父・広幸さんと二人三脚で牛の世話をしている貫見未来さんは、県内でもめずらしい独身女性の認定農業者(畜産)として頑張っている。幼い頃から広幸さんの仕事を見ながら育った未来さんにとって、この仕事に就くことは自然の流れだったという。

広幸さんの指導のもと就農3年目。今では、ほとんどの仕事をひとりでこなす。

未来さんは人工授精師の資格ももっており、目下、人工授精の勉強と今までは広幸さん任せだった削蹄の練習にも励んでいる。

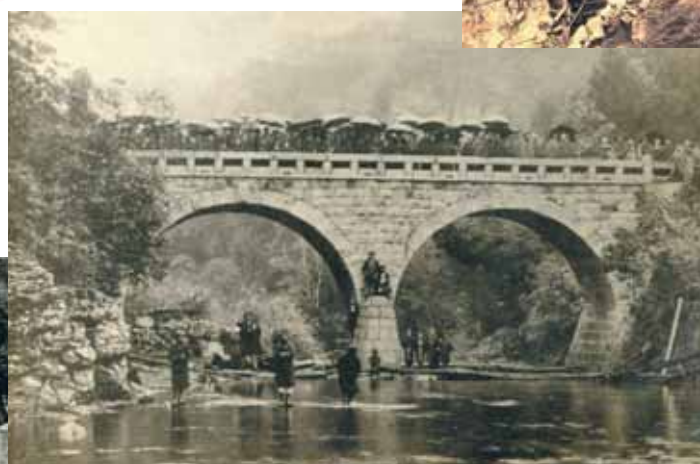
将来的には、規模拡大を視野に入れており、当面の目標として現在25頭いる牛を50頭まで増やしたいと熱く語る。仕事以外でも活発に活動し、地域で作っているジャズバンドではトランペットを担当している。

未来さんは、本町の現状にも目を向け、帰ってきたくても帰れない若者が多い、役場と地域が一体となって若者が帰ってきやすい錦江町にならなければならないと語った。

## 錦江町思ひ出写真館



建設中の橋の上で→



↑完成した橋と一緒に記念の一枚

大正11年の厚ヶ瀬橋の建設写真。今ではほとんど見ることはない『めがね橋』



↓神主を先頭に渡り初め